

立憲主義は憲法の原理

日本の改憲論を考える

立花 希一



一昨年の安部内閣改組法案の国会審議をきっかけに、「立憲主義」という言葉が国民に広く知られるようになった。立憲主義とは、一言で「憲法によって国家を導く」ものだ。立憲主義に基づいて憲法は、国民に理不尽な義務を課しそれを守らせるものではない。逆に、国民の側が個人の人権を政治権力が尊重しているかどうか監視しコントロールする権利を保障する。したがって、憲法の根幹には「基本的人権の保障」とその保障を可能にする「思想・信条・言論の自由」が少なくとも不可欠である。

戦前の明治憲法体制では、最高権力としての天皇の政治的行使を縛る手立てが国民にはなかった。他方、個々の人間を目的として認め、自分の目的のため単なる手段として扱った。明治憲法は、プロシア憲法と同様、早せかけの立憲主義で、「立憲主義なき憲法」であった。帝國議會の権限は極めて、天皇の至高の権力を縛る手立ては、議合にも内閣にもなかった。しかも、憲法上の規定のない枢府院、元老、御前會議が政治権力の実権を握っていた。

最近人気の将棋の世界は、立憲主義とは真逆である。というのも、将棋は王(玉)が生き残る

戦前の明治憲法体制では、最高権力としての天皇の政治的行使を縛る手立てが国民にはなかった。他方、個々の人間を目的として認め、自分の目的のため単なる手段として扱った。明治憲法は、プロシア憲法と同様、早せかけの立憲主義で、「立憲主義なき憲法」であった。帝國議會の権限は極めて、天皇の至高の権力を縛る手立ては、議合にも内閣にもなかった。しかも、憲法上の規定のない枢府院、元老、御前會議が政治権力の実権を握っていた。

最近人気の将棋の世界は、立憲主義とは真逆である。というのも、将棋は王(玉)が生き残る

戦前の明治憲法体制では、最高権力としての天皇の政治的行使を縛る手立てが国民にはなかった。他方、個々の人間を目的として認め、自分の目的のため単なる手段として扱った。明治憲法は、プロシア憲法と同様、早せかけの立憲主義で、「立憲主義なき憲法」であった。帝國議會の権限は極めて、天皇の至高の権力を縛る手立ては、議合にも内閣にもなかった。しかも、憲法上の規定のない枢府院、元老、御前會議が政治権力の実権を握っていた。

文

化

私たちは、1952年東京生まれ。秋田大学文化学部教授(倫理学)。共著に「批判的合理主義」、訳書に「哲学と現象世界」「カール・ポパー入門」「バルセロナの宮廷にて」「ユダヤ教とキリスト教の競争」など。秋田市。

能代市 平塚 鈴子

太陽が
夕映えを纏い
一日の雑沓を抱いて
日本海に降りこむ時

ゆるやかに時に激し
沈黙していく日々と
沈みこませてはいけ
ない
愛おしいもの

私の
一日の時計も
さらさら さらと
流れ切る

おほろけな 光も
はかなげな 影も
いのちの 微笑も
明日への言葉にふまわしい

もう ひっくり返さない
24時間の砂粒たちは
体温を下げて
心の海底で目を閉じる

言伝は いくつか
ゆきあいの空に
辿り着くのか それとも
こだまに なるのだろうか

明日への言伝

うつかりしていると
沈ませてはいけ
ない
光りある 砂粒さえも
紛れ込ませてしま

【評】私の一日を砂時計とした
鐘は、起承転結に添ってサ
ラサラと流れていく。沈み
込ませてはいけ
ない光る砂
粒。おほろけではかなげ
な愛しいものたちの声を
そとすくい上げ、それを
明日への言伝にしたい
と。

駒木 田代子・道

うか。欧米諸国と同様、アフリカの現業とは決定的に異なると思いたいのだが、実はそうならないところだ。日本の政治状況の危うさがある。国民主権がうたわれている現行憲法体制では、憲法上、国会が国権の最高機関として位置付けられている。にもかかわらず、安倍内閣は、足以来、政府内閣(行政)が国会の上位にあるかの様相になってい

立憲主義からみると、野党時代の自民党の憲法改正草案(2012年)は、現行憲法より明治憲法に近く自由や民主主義、基本的人権を弱体化させるものだった。立憲主義の無理解を露呈した。立憲主義を自民党は今も